

スーパーヒーローじゃない、 「みんながヒーローになれる社会をつくる」というビジョンのもと、 樋口総合研究所がお送りする新メディア「ヒロラボ」が誕生!

私たちの、私だけのヒーローを紹介していきます。

INTERVIEW.

日本ラグビーフットボール協会 清宮克幸氏

樋口陽平 樋口総合研究所

**HERO LABO** 

toward a society where everyone can be a hero.



INTERVIEW

# 社会を目指して 誰にでも活躍できる場所がある」

清宮克幸氏 / 樋口陽平

共通点は「人」。ふたりのリーダーが描くチームマネジメント論をお届けします。 表・樋口氏の対談が実現。スポーツとIT、一見かけ離れた世界に思えるふたつの 輝くスポーツではないラグビーで、現役時代から幾度となくチームを頂点へと導 創刊号のゲストは、日本ラグビー界の名将・清宮克幸氏。スタープレイヤーだけが いてきた清宮氏と、みんながヒーローになれる社会を目指す樋口総合研究所の代

### やりがいと責任感と連帯感 チームの課題を超えて生まれる

・まずは、今回の対談に至った経緯から

緒させていただく機会があったので、この ました。今日はよろしくお願いします。 い!と相談したところ、お受けいただけ 「ヒロラボ」創刊号にぜひ出ていただきた をいただきました。たまたまゴルフをごし 集まる「ベンチャー稲門会」という会でご縁 早稲田大学出身のベンチャー企業経営者が 早稲田大学の先輩です。僕が参加している 樋口 清宮さんは、僕の出身大学である

いを感じます。 清宮 この相模大野にオフィスを構えて から地域を変えていくんだ! っていう想 くらいわかります。ここに根を張って、ここ いるっていう時点で、やりたいことが半分

> げています。ひとりのスーパースターの活 清宮 「何でもできる子」というより「何 躍ではなくチーム力で勝つラグビーとも通 かが得意で何かが不得意」という子たち じる何かがあるのではないかと思います。 になれる社会をつくる」というビジョンを掲 ―樋口総合研究所は「みんながヒーロー

のは対なんだけど、できないことをでき を伸ばすこととできないことを克服する る。選手を育てていく中で、できること 人も大きい人も太った人も、みんながそ 合いながらチームを作るのが、ラグビー ビーに入ってきます。その長所を生かし が、いろいろなスポーツを経た上でラグ れぞれの長所を生かしてチームに貢献す の魅力のひとつ。だから、身体の小さい も自然とついてくるということ。

手が入ってくるチームではなかった。だか 最後に監督をしていたヤマハも、トップ選 せんでした。高校・大学の学生時代も、 るようにしたところで一人前になるだけ。 をやってきました。 ら、スーパーマン、トップアスリートが集 きた環境には、スーパーマンはあまりいま だから長所を伸ばすんです。僕が育って まらないチームでも勝てるんだ、というの

そうすると、チームに対するロイヤリティ から先は選手たちの領域、もう僕の仕事 思想が違う人たちのやっていることを勉強 日本のラグビーはニュージランド人やオー す。じゃあフランスへ行ってスクラムを勉 ないスクラムを作ろう」というお題を出 例えば、「日本のチームで俺たちしか組ま に選手たちをどう育てていくのですか? てくれるリーダーだと思います。具体的 は「ついていったら勝てそう!」と思わせ ただいたことがあるのですが、清宮さん 樋口 清宮さんのセミナーに行かせてい ついてきたら、次は愛=絆になるんです。 感と連帯感が生まれる。その上で結果が で一緒に超えることで、やりがいと責任 手たちのマインドは変わります。つまり、 はない。そういう経験をさせるとね、選 う。そこまでは僕が言います。でもそこ 強しよう。なぜフランスかいうと、その頃、 の後変わっていくのは選手たち自身です。 清宮 きっかけは僕が作ったとしても、そ 何かひとつの山、チームの課題をみんな して、それを自分たちのオリジナルにしよ ストラリア人がコーチングしていたから。

### 普通のことをしていても勝てない 誰もやっていないことをやって勝つ

の人を提案する、という考え方ではなく、理 ら、その仕事に合う人を採用して、先方にそ ます。うちの会社は、こういう仕事があるか る会社なのでもちろんスキルは大切なので 過ごして残ってくれている人たちは、やはり 樋口 確かにそうですね。うちの会社は今 たちが活躍してもらえるような環境を作っ 念に共感してくれる人を採用して、その人 すが、一番大事なのは人間関係だなと思い 戦友のような感覚です。エンジニアを派遣す てく、という考え方を大事にしています。 13年目ですが、苦しかった時期を一緒に

非常に面白いと思ったし、それだけでリー こんなことができるんですけど、どうで ダーとしての想いが感じとれました。 す」という言い方をされたんです。それは 最初にお会いしたときに、どういう会社 そんな中で、「うちにはこんな人間がいて、 前の能力を売りにいったところで、現状 なんですか? と聞いたら「全員社員で すか?」って言われたほうが絶対にいい。 で十分だよ、という会社も多いじゃない。 清宮 すごくいい発想ですよね。当たり

選手ですが、選手と育て方は同じですか? す。それ故、社員の育成というのが大き な課題です。清宮さんの息子さんは野球 研修して外で活躍できるようにし、エンジ だから未経験の人でも採用して、社内で 視野で考えると、そもそも世の中のエンジ 合いになっているのですが、もう少し広い 的にエンジニアが求められていて人の取り 練習ができる環境を作ったのですが、「こ 生の頃、家に365日24時間いつでも ニアのパイを増やしていこうと考えていま ニア自体を増やしていかなきゃいけない。 基本的には同じです。息子が小学 ありがとうございます。今、時代

> いうこと。子どもの場合は、自分だけだと 思わせるということです。 んなことをやっている小学6年生は、 同じで、誰もやっていないことをやる、と ました。選手たちにしていることと発想は でお前だけだよ」というセリフを言ってい 日本

樋口 なるほど。清宮さんの学生時代も そういう環境があったんですか?

樋口 僕の場合は、自分より優秀な人は の頃から考え方はいつも同じで、誰もやっ 昼、夕方と毎日3練。当時は明確に思っ でしたよ。高校でラグビー部のキャプテ 清宮 いやいや、僕が育った環境は普通 てきました。だからひとりでは勝てない、 たくさんいるなと思う経験をたくさんし ていないことをやって勝つ、ということ。 いう練習をした結果、優勝しました。そ していても勝てない、と思いました。そう ていたわけではないですが、普通のことを 会で勝ってやる!」と言っていました。朝、 ンになって、「絶対大阪で優勝して全国大

> 思っているんです。 ういう人を周りに増やしていけたらなと 賛同してもらって、活躍してもらうか。そ だから自分よりも優秀な人にいかに多く

はそれを聞きたいと思って来ました。 たいかっていうのはあるでしょう? 清宮 でも、この会社をどういう姿にし

世の中にたくさんいると思うんです。そう いく。能力があるけど埋もれている人って、 いう人たちを活躍させる、活躍の機会を提 ロー」になる人をひとりでも多く輩出して 樋口 世の中で活躍できる、まさに「ヒー

供できる、そういう会社にしたいと思って

### その長所を活かす戦術を考えればい 平均点よりズバ抜けた長所があ い

というのがあるのですが、実際には難しい 論どんな人でも採用できて、どんな人でも 樋口 うちの場合、ビジョンの通りだと極 部分もあり……、課題です。 育てられて、活躍できる人にしていきたい。

僕の採用の個性は「とにかく抜けたものを 清宮 僕は、樋口くんの採用ってこうだよ ね、という色(個性)があっていいと思います。

> の仕事だと思っています。ゴールに向かう 盤を固めて、唯一無二の会社にできれば、 います。まずはこのエリアでしっかりと地 メージした通りにはならないですからね。 員が同じように理解して行動しないと、 いなんです。それをわかりやすく伝えて、 方法って10も20なくて、2つか3つくら 伝える。これがラグビーの監督(=リーダー) を、簡単な言葉で選手たちにわかりやすく 清宮 僕の場合は、ひとつの伝えたいこと 自然と広がっていくのかな、と。

ひとつ持っていること」。平均点が高い選手 といけないボジション。5人中4人は カー)を探していときの話です。2番はフォ 中で、ひとりだけ168センチ、体重も ワードの最前線で、まず身体が大きくない 採ります。これは、ヤマハ時代に2番(フッ よりも、あるものがズバ抜けている選手を 180センチ超え、100キロ以上。その

所のある選手を採ります。だから、樋口く くるっていうのと一緒ですよね。 ら、平均点の高い選手より、ズバ抜けた長 の長所を活かす戦術を僕が考えればいいか 中でスピードがズバ抜けていたんです。そ の選手を採用しました。この選手は5人の 選手は採らないんだけど、僕は結果的にこ した。普通に考えたらこの168センチの 80・90キロあるかないかの選手がいま んが言う、その社員に合った仕事を探して

のかなと思っています。 てくれる人が結果的に長く続けてもらえる を決めるのは難しいですが、理念に共感し 樋口 やっぱり基準は必要ですよね。基準

きる男だなと思います。 か、自分がどこに根を張って生きているの 当に素晴らしい。僕の知り合いに紹介で う根を張る場所を用意してくれている、 言っている時代に、樋口くんは、会社とい 思う。大企業が終身雇用じゃないなんて その要因のひとつに雇用の問題があると ような感覚が薄れてきていると思います。 の不安感とか、将来の夢にワクワクする しようとしているリーダーだというのは本 かが明確でない人がたくさんいて、社会へ 清宮 現在、自分自身が何者であるかと



清宮克幸 PROFILE 1967年生まれ、大阪府出身。早稲田大学 (ラグビー部) 卒業後はサ ントリーに所属。主将として何度も優勝へと導き、同時に日本代表 選手としても活躍。2001年の現役引退後は、早大ラグビー部をは じめ、サントリー、ヤマハなどの監督を歴任し、数々の功績をおさめ てきた。現在は、日本ラグビーフットボール協会の副会長を務める

桶口陽平 PROFILE 1978年生まれ。静岡県出身。早稲田大学社会科学部卒業後、三菱 ーチャーズ証券株式会社に入社。翌年2003年に樋口商事 を創業。2010年、株式会社樋口総合研究所を設立し、現在に至る。



**HERO LABO** 

where everyone can be a hero. toward a society

## みてんながいいるとっているとうとなっくる。

### 相模大野に[Best Workplace]が誕生

2022年5月、相模大野に移転リニューアルした神奈川本社。樋口総研らしい働き方を追求したワークスペースは、機能的で働きやすい空間です。

今年で13年目を迎えた樋口総合研究所。神奈川本社が小田急線・相模大野の駅前(徒歩1分)に移転リニューアルしました。出向している社員が多いので普段会社にいるのは少人数ですが、いつでも帰って来られる、何かあればいつも誰かがいて力になってくれる、そして何より働きやすい場所であるように、このオフィスを作りました。営業部、総務部、エンジニアの仕事スペースに加えて、2つのミーティングルームと最小限のカフェスペース。スタイリッシュな空間にやわらかなグリーンのアクセントが素敵なベスト・ワークプレイスです。







### 私だけのヒーローな [モノ・コト・ヒト]

これで元気が出る、癒される、など。自分にとってのヒーローは、人それぞれ。ここでは、樋口総研社員のちょっとしたヒーローをご紹介します。

### パンがなければラーメンを食べればいいじゃない。

### キングオブ塩分 「塩そば専門店 桑ばら」

池袋東口サンシャインシティ裏にある塩専門のラーメン屋。この店、ただの塩そばではない。1杯で2.5日分の塩分を摂っているのでは?と不安に思うほど塩分の主張が強い。だがこれが最高に旨い。卓にある柚子胡椒は心の友。まさに塩分の暴力&最高権威。塩はあっさり?いいえ幻想です。(谷口奈子)



### 研究員Sの『推しモノガタリ』

### 心裏を思慮する物語 西 加奈子「窓の魚」

一言で、ジャンルのない物語。「サラバ」などの 力強さや、関西色が色濃い西加奈子さんの作品では異端の小説。恋愛でもミステリーでも 青春でもなく、明確な答えもない。繊細な情景 と、混濁した心裏に読ませる余韻。私が初めて 読んだ小説でもあり、改めて小説の読み方を 考えさせられる作品です。(清水崇)





### 株式会社 樋口総合研究所(Higuchi Consulting Co.,Ltd.)

[東京本社] 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目27番5号 リンクスクエア新宿16F TEL:03-6890-3410 [神奈川本社] 〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野三丁目12番6号 VIAビル7F TEL:042-702-9780 www.higuchi-consulting.com